県立那珂湊高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

◇目指す学校像
「自主」「勤勉」「協和」の校訓のもと、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進し、地域の次世代を担う人財を育てる学校。
（１） 何事にも挑戦する精神の涵養
（２） 創造力・企画力・説明力の育成
（３） 世界的な視野を持ち地域貢献のできる人財の育成
（４） 基礎学力の定着
（５） キャリア教育の推進
（６） ２１世紀型スキルの育成
（２１世紀型スキル・・・これからの変化の激しい社会に主体性を持って参画し、自ら課題を見つけ、創造的にその課題を解決できる能力等のこと）

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、地域や世界の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、豊かな人間性を育み課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
(1) 地域や世界の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさを交流のなかから気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。
(2) 地域や世界の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて創造力を高めたり、調査して得た情報を基に企画したり、論理的にまとめ・表現する説明力を身に付ける。
(3) 地域や世界の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、これからの変化の激しい社会に参画し持続可能なよりよい社会を実現するために挑戦し続けようとする態度を育てる。

総合的な探究の時間の学習評価

・ワークシートを用意し、振り返り手法によって生徒が授業を振り返り自己評価する。
・計画書、作成した資料、ワークシート等を評価の対象とする。

	レベル１	レベル２	レベル３	レベル４
主体的に学習に取り組む態度	活動に参加しなかった。参加しても協力的な態度でなかった。	活動への参加が消極的で、指示されないと行動ができない。	自ら積極的に活動に参加している。	周囲と協力しながら活動に積極的に参加することができた。
思考力・判断力・表現力	自分の考えを表現することができない。	少し自分の考えを表現することができた。	ある程度、自分の考えを表現することができた。	しっかりと自分の考えを表現することができた。

生徒の実態

・地域連携や実践的な活動から、地域での本校の各種活動は認知されてきている。

・各種イベント等をとおして、地域に受け入れられ、自信を持ってきている。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

・多様な生徒が在籍するため、様々な可能性にチャレンジできる体制づくりが必要である。

・今後さらに地域等との連携を強化し、多様な課題に挑戦できるようにする。

目指す生徒の姿

・本校でしかできないことに挑戦する。
・世界を視野に地域貢献できる。
・地域課題に関心を持ち、地域の団体等と連携し、生徒主体でイベント実践等ができる。
・地域に欠かせない存在となる。
・地域課題を国内外の各種課題と結びつけ、課題解決に向けた行動を起こせるようになる。
・自らの進路実現に向け、主体的に日々努力し、何事にも挑戦しようとする。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

１学年（全学科）「総合的な探究の時間」
地域活性化に向けた本校の特色を活かした取組
(1) 探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、人との交流のよさに気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。
(2) 地域と自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて創造力を高めたり、調査して得た情報を基に企画したり、論理的にまとめ・表現する説明力を身に付ける。
(3) 地域と関わる探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、これからの変化の激しい社会に参画し持続可能なよりよい社会を実現するために挑戦し続けようとする態度を育てる。

２学年（全学科）「地域課題探究Ⅰ」３学年（普通科）「地域課題探究Ⅱ」
本校でしかできないことに挑戦
(1) 様々な地域や世界の人・もの・ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさを交流のなかから気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。
(2) 様々な地域や世界の人・もの・ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて創造力を高めたり、調査して得た情報を基に企画したり、論理的にまとめ・表現する説明力を身に付ける。
(3) 様々な地域や世界の人・もの・ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、これからの変化の激しい社会に参画し持続可能なよりよい社会を実現するために挑戦し続けようとする態度を育てる。

学習活動、指導方法等

学習活動
・探究の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする等、主体的・対話的で深い学びを意識した学習活動をする。
・探究の過程においては、コンピュータ（タブレット端末を含む）や情報通信ネットワーク等を適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信する等の学習活動をする。
・最終的には、調査・研究した内容について、グループ等で発表する。

指導方法等
・探究リーダーを中心とした探究推進委員会が主体となり、全教員の協力・指導体制により実施する。
・地域や企業・大学・JICA 等と連携し、外部リソースを活用していく。
・１年次は自己理解や他者理解を深める学習や、探究の方法に関する学習を一斉授業で行い、設定されたテーマに沿ったグループ探究を行う。
・２年次は７つのテーマ（(歴史・文化・食・観光・防災・環境・万博)について一斉授業を行う。その中で自身の興味関心に基づくテーマを選択し、修学旅行先と身近な地域を比較する。個人探究を行い、数名のグループでリーフレットを作成し、文化祭展示と学期末に発表を行う。
・３年次は興味関心が同一になるようにグループに分かれ探究後、個人探究。学期末ごとにレポートやプレゼンテーションなどにより発表。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

・探究授業者担当会議（週１回）・・・各学年の担当者で指導方法と進捗状況等について情報を共有し、授業改善を図る。
・探究推進委員会議（毎学期１回）・・・各学年の推進委員が参加し、目標や評価、指導方法と進捗状況について情報を共有し、授業改善を図る。
・総合的な探究の時間研修会（５月頃）・・・新規採用者、転入者対象の研修を実施し、本時間の目標等について共通理解を図る。
・学科間（教科間）連携・・・地域探究活動等、商業科が実施してきた取り組みのノウハウ等を取り入れる。
・地域との連携、産学連携、高大連携、外部組織連携（JICA）・・・外部リソースを活用し、世界を視野に入れた地域課題解決学習を実施する。